LiveBot3 について

YouTube と USTREAM 向けのライブ放送機器
カメラ機能と配信機能を搭載したオールインワン設計
100 円ライター程度の超小型デバイス

電源入れれば放送開始のお手軽設定が可能
ニコニコ生配信やツイキャスも条件付きで対応可能

ライブ放送のシステムの一部でも使用可能

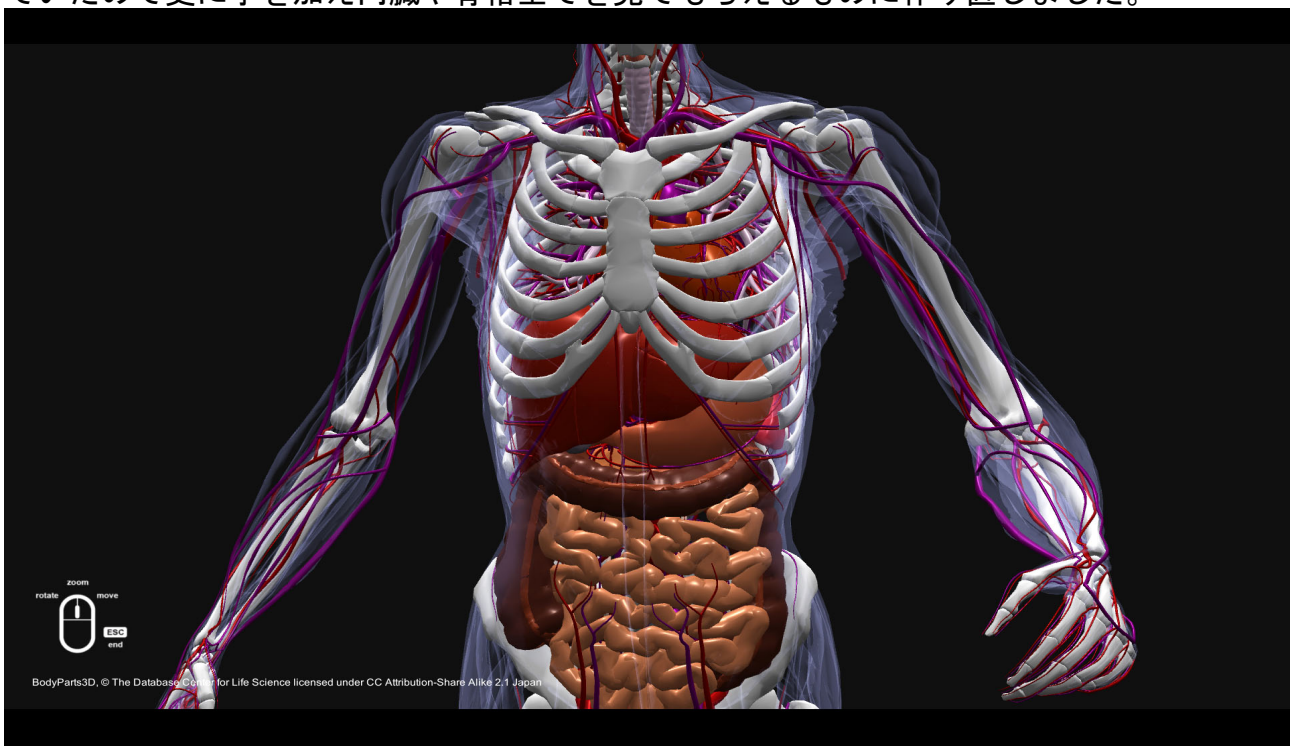
使用シーン
さくらまつりや海の家ライブイベントなどで数台設置のカメラ映像を編集スタジオにインターネット経由で送り、リアルタイム編集（全自動も可能）で Youtube や USTREAM に配信
※１台で単独配信も可能

VR について
以下の数例はパソコン用やスマホ用など制限してますが、作成時の要求がそうであっただけで全て共通でパソコン、スマホ、タブレット用に制作可能です。

街全部まとめて人工知能制御 VR パソコン用
ダウンロード http://dz.plala.jp/wiki_data/ITS2_win64bit.zip
車と信号と人々を人工知能で動かした街レベルの巨大な空間の中を自由に歩くことができます。ＸＸＸＸ向けコンテンツの実装検証が必要でテストしたものです。ロボット未来構想です。

建築内観 VR パソコン用
ダウンロード http://dz.plala.jp/wiki_data/LightingTest.zip
2016 年中旬辺りからハウスメーカー、ゼネコンなどから建築業界向けの VR の問い合わせを多くいただき、日本国内で建築業界に精通した会社の事例が皆無であったため本格的な建築 VR をたたき台で作成しました。

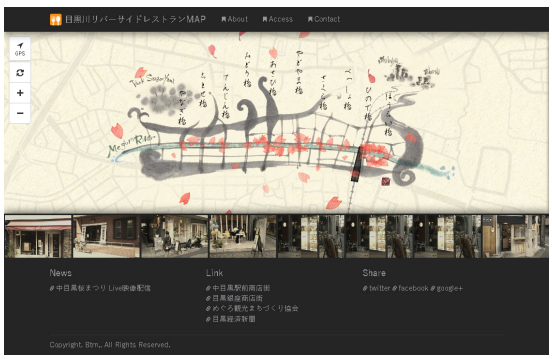
医学分野向けVR パソコン用
ダウンロード http://dz.plala.jp/wiki_data/BodyParts3D_win.zip
ＸＸＸのＸＸＸＸから内臓のセンサー値を読み取り、頭にかぶるタイプのVR機器で患者の内臓の状況を患者自身の体を透かして見ることができるコンテンツを作成しました。
この際に臓器全体の位置の把握に文部科学省委託研究開発事業のBodyParts3Dを参考にしていたので更に手を加え内臓や骨格全てを見てもらえるものに作り直しました。



スマホ向け軽量VR スマホとパソコン兼用
1. スマホＤＥバーチャルモデル https://goo.gl/QWicvU
2. スマホでＶＲ https://goo.gl/GCevtC
3. スペースコロニー https://goo.gl/9Ms28f
4. ビデオＶＲ https://goo.gl/frV9Dz

1000円程度のVR機器をスマホに取り付けることを前提に作成してますが、素のスマホでも操作できるように考慮しています。

人工知能について
人工知能チャットロボット パソコン用
https://goo.gl/z5SGZR
結構お馬鹿さんの人工知能を採用しています。少し下品な解釈では、現在の日本の人工知能は海外と比べて一周くらい数年遅れてます。ましな状況になったら本格的な人工知能に差し替えるとしても、日本語の音声合成技術がそれ以上に全くのNG常態です。研究所レベルでも恋愛感情やセックス相手にしたくなる声のレベルでは全くありません。解決策に日常会話程度であれば１０００語程度に制限して声優さんの肉声をそのまま使用することが正しいと判断して準備してたのがこのMikuMikuAIです。結果声優さんの声撮りの機会を逃してしまい放置状態で現状は情報通信研究機構(NICT)の人工音声合成技術をライセンス違反にならない程度に使用しています。

GPSベースの地図アプリ パソコン用
1. 目黒川リバーサイドレストラン http://www.btmtokyo.com/nakame/
2. 航空機座標解析&3Dビューワ https://goo.gl/FDjWE3
3. ゲリラ豪雨ビューワ https://goo.gl/wRJezJ

自動運転車やビックデータの時代に入り地球規模のビジュアライゼーションの需要が高まっています。実際の問い合わせ事例ではお城のＧＰＳベースの地図アプリでスマホ用開発。現代のお城の敷地を歩くと当時のＶＲ映像がスマホ画面に３６０度現れるようなものがあります。ＧＰＳ座標ベースなのでお城のその座標に観光に来て初めて起動するアプリなので集客につながる可能性があります。